

## 次世代 AI-OCR サービス「RECERQA Scan」の取り扱い開始

丸紅 I-DIGIO グループ・デジタルソリューションセグメント(セグメント CEO:山中 茂生)の丸紅情報システムズ株式会社(代表取締役社長:佐藤 由浩 以下、MSYS)は、株式会社リチェルカ(代表取締役 CEO:梅田 祥太朗 以下、リチェルカ)と代理店契約を締結し、非定型書類に特化した次世代 AI-OCR サービス「RECERQA Scan(リチェルカ スキャン)」の取り扱いを開始します。

AI の発達により OCR を活用したデータ入力業務の効率化が進む一方、取引先ごとにレイアウトが異なる注文書・納品書・見積書などの非定型書類は、固定レイアウトの書類に比べて処理量・業務負荷が大きいにもかかわらず、データ入力の OCR 化が進まず依然として多くの企業において課題となっています。

RECERQA Scan は、生成 AI を活用し、読み取り箇所の設定なく多様な帳票を高精度かつ即時にデータ化できるクラウド型 AI-OCR サービスです。最先端の生成 AI 技術による非定型書類の読み取りに特化し、従来は困難だった非定型書類のデータ化で高い効果が期待できます。導入企業における検証では、50 フォーマット・2,068 項目の非定型帳票で認識率 98%を達成しました。従来型 AI-OCR では読み取れなかった明細の正確なデータ化にも成功しています。座標指定や学習を事前に行うことなく生成 AI が請求書・見積書・注文書・納品書・健康診断書・不動産資料・カタログなどのさまざまなレイアウトを自動認識し、読み取りたい項目を日本語で指定するだけで言葉の意味やレイアウトを判読して必要な情報を取得します。表記揺れ補正や、商品名・取引先名などコード自動変換の機能により、人手でのチェック作業や修正作業を削減します。また、生成 AI が帳票内の情報から要約や翻訳、計算をすることも可能です。

MSYS は、これまで対応困難だった非定型書類のデータ化を RECERQA Scan を核とするソリューション提案により実現し、さまざまな業種・業界での業務効率化と更なるデータ活用を包括的に支援していきます。

製品サイト:<https://www.marubeni-sys.com/recerqascan/>

### 非定型書類の AI-OCR における代表的ユースケース

対応事例	内容
注文書・発注書の入力作業の自動化【営業部】	取引先ごとにレイアウトの異なる注文書を自動で読み取り、商品コードや取引先コードへの置換も自動化して基幹システムに取り込み
納品書と発注データのチェック作業を自動化【営業部】	取引先ごとにレイアウトの異なる納品書を読み取り、発注内容との消込業務を自動化し、事務業務を大幅に短縮

見積明細のデータベース化による仕入コスト管理【購買部】	これまでデータ化していなかった明細単価の情報をデータ化し、過去の見積履歴を検索できるデータベースを構築
健康診断書のデータ化【保険業界等】	医療機関ごとにレイアウトが異なり、今まで手入力が必要だった健康診断書の読み取りを自動化
給付金の支給業務【BPO】	申請書類一式の仕分け・データ化・照合作業をまるごと自動化
書類の仕分けと入力の自動化【自治体】	会計課や総務部などあらゆる部門で扱う書類の自動仕分けと、読み取りを自動化
図面のデータ化で検索を可能に【製造/建設業】	図面をテキスト化し、過去図面を容易に検索できるデータベースを構築
商品規格書をデータベース化【食品業界】	あらゆる情報が記載された商品規格書の情報をデータ化し、商品マスター管理を高度化。
保険金請求業務の自動化【保険】	申請書/領収書/本人確認書類などの書類を自動で仕分けて読み取り、チェックまでを自動化。
製品カタログのデータ化で見積作成を高速化【商社】	企業ごとに異なる製品カタログをデータ化。顧客からの見積り依頼時に容易に検索できるデータベースを構築。

【リチエルカ株式会社 代表取締役 CEO 梅田 祥太郎 様 コメント】

「自分が経営するバイクの輸入商社実務で痛感した“OCR 難易度の高い帳票の山”をデータ化すべく開発した RECERQA Scan は、販売開始から1年が経過し、多くのお客様の“できない”を解決してきました。RPA や AI-OCR の提供・実装に強みを持つ丸紅 I-DIGIO グループ様との協業により、大手企業様への課題解決がより一段と強化され、日本企業の DX を加速度的に進められると確信しています。」

【リチェルカについて】

「AIの社会実装を通じて、今までの“できない”を解決する」をミッションに、大手企業向けのソリューション「RECERQA(リチェルカ)シリーズ」を開発・販売しています。RECERQA シリーズは、依然として業務・システム上の課題が残るサプライチェーンマネジメント領域を中心に、AI 活用に不可欠なマスタデータ管理(MDM)・アナログデータのデジタル化(AI-OCR)領域を含む5つのソリューションで構成。お客様が従来課題に感じていた業務課題を、テクノロジーの力で解決いたします。

【丸紅 I-DIGIO グループについて】

丸紅 I-DIGIO グループは、丸紅株式会社の ICT 領域における事業会社グループとして、以下の4事業セグメントに注力し、商社の強みである幅広い顧客基盤とネットワークを生かした成長戦略を推進しています。

製造ソリューションセグメント: 製造業向けソリューション

流通・産業ソリューションセグメント: システム開発およびコンタクトセンターソリューション

デジタルソリューションセグメント: ネットワーク・ストレージ・クラウド・セキュリティ領域のソリューション

IT 基盤サービスセグメント: IT 基盤領域の設計・構築・運用

ホームページ: <https://www.marubeni-idigio.com/>

<お問い合わせ先(プレス関係者窓口)>

丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社

コーポレートセグメント 管理本部

マーケティング&コミュニケーション部 広報課

〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目6番1号 住友不動産飯田橋ファーストタワー

電話: 03-4243-4040

<製品に関するお問い合わせ>

丸紅 I-DIGIO グループ

デジタルソリューションセグメント CX ディレクション事業本部

電話: 03-4243-4320

\*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

\*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。